

概要版

公共ファシリティマネジメント基本方針

適正配置計画

長寿命化計画

小牧市公共ファシリティマネジメント基本方針 (公共施設等総合管理計画)



ファシリティマネジメントって何だろう？



どんなことに取組んでいくの？



平成29年3月策定

令和5年3月改定

 小 牧 市

1 公共施設を取り巻く現状と課題

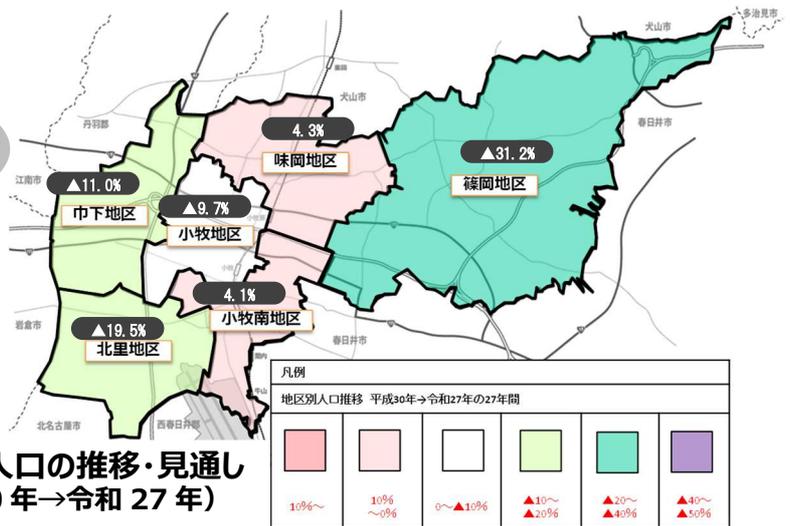
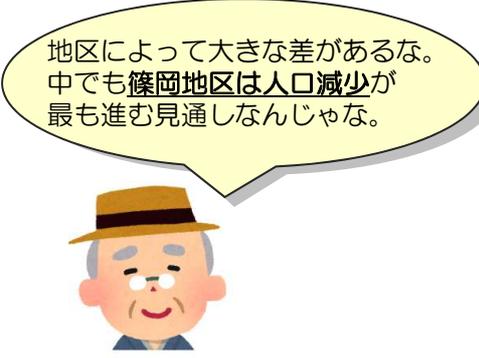
本市では、**昭和 40 年代から昭和 50 年代**にかけて、**人口増加に合わせて整備してきた公共施設の老朽化**が進んできており、**近い将来、これらの施設が建替え（更新）**を要する時期を次々と迎えることとなり、これにかかる**多額の経費が財政を圧迫**することが懸念されます。

また、**人口減少や少子高齢化の進展**に伴い、**税収の減少**や国民健康保険・介護保険・高齢者福祉などの**社会保障関連経費の増加**が見込まれており、今後の**財政運営が徐々に厳しさを増す**とともに、公共施設に対する**市民ニーズが変化**していくことなどが予想されます。

こうした状況をとらえて、本市の**公共施設に関する課題**を次の**3つ**にまとめました。

①人口減少社会・少子高齢化社会の進展に伴う施設ニーズの変化

公共施設に対する市民ニーズの変化や厳しい財政状況に対応するため、**市民ニーズの変化に対応した公共サービスを提供する施設への見直しや、無駄のない施設総量の適正化**に向けた取組みが必要です。

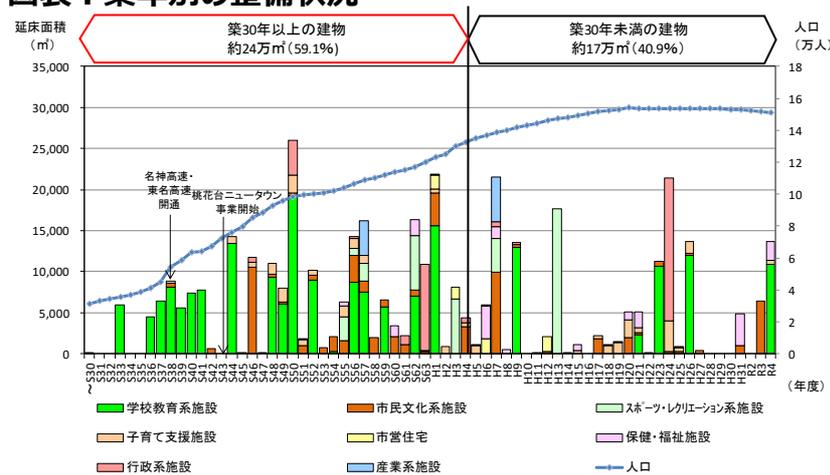


図表：地区別人口の推移・見通し (平成 30 年→令和 27 年)

②公共施設の老朽化

現在、公共建築物の**約 6 割が築 30 年を経過**しており、老朽化が進んでいます。そのため、利用者が**安全で安心して使い続けられる**よう、建替え・改修・修繕などの**公共施設の老朽化に対応する取組み**が必要です。

図表：築年別の整備状況

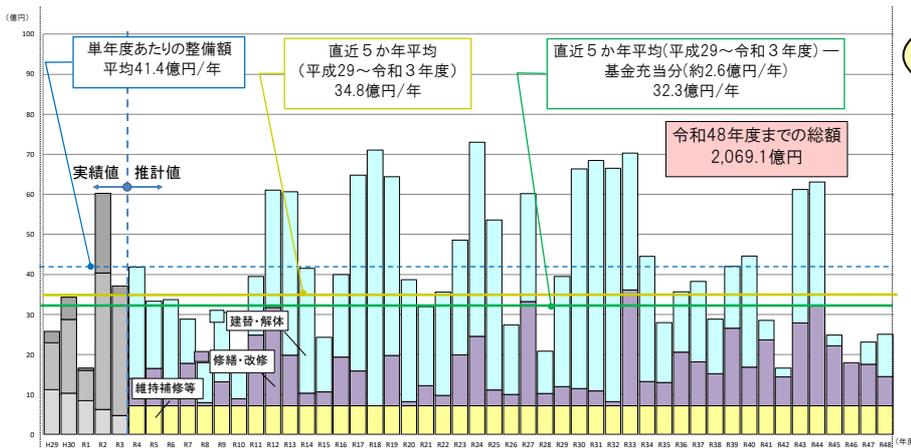


③ 公共施設の維持更新にかかる費用の増加

建築物の寿命を 60 年とした場合、平成 29 年度から令和 48 年度までの **50 年間**にかかる建替え、大規模改修費用の総額は **2,069.1 億円**で、**単年度あたり 41.4 億円**の維持更新費が必要です。これは**直近 5 か年で公共建築物に支出した年度平均 34.8 億円と比較すると、6.6 億円不足**しており、さらに**基金充当分を除くと 9.1 億円の不足**が生じます。

今後、維持更新費が増加し、本市の財政はより厳しさを増していくことが予想されることから、試算にもとづく維持更新を進めていくには、**経費を削減するための取組みが必要**です。

図表：将来の更新費用の推計（公共建築物のみ）



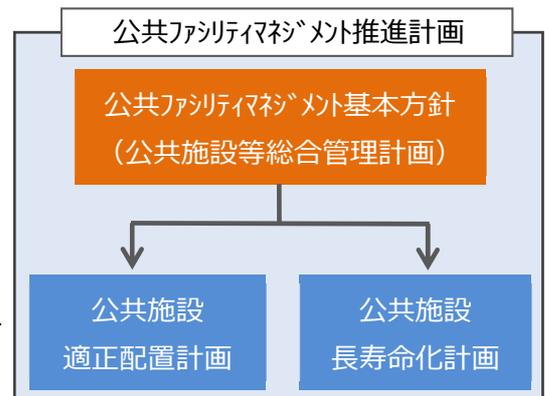
出典：小牧市公共施設長寿命化計画

2 公共ファシリティマネジメントの推進

このような課題に対応し、**公共施設のより効果的で効率的な維持管理・運営を行う全庁的な取組み**である**公共ファシリティマネジメントを推進**するため、「**小牧市公共ファシリティマネジメント基本方針**」（以下「基本方針」という。）を平成 28 年度に作成しています。なお、この基本方針は、国が策定を求めている「**公共施設等総合管理計画**」として位置付けます。

✓ 公共ファシリティマネジメントの推進

本市の公共ファシリティマネジメントは、この基本方針に基づき、**公共施設の配置や総量の適正化**に向けた「**公共施設適正配置計画**」と、適切な維持管理を実施し**施設の長寿命化を図る「公共施設長寿命化計画**」を併せて策定し、この**3つの計画を「公共ファシリティマネジメント推進計画**」として取組んでいきます。



✓ 対象施設

本市が所有する小中学校や集会施設などの「**公共建築物（ハコモノ）**」、道路及び橋梁などの「**インフラ施設**」及び市民病院、上水道管理センターなどの「**企業会計の施設**」を対象とします。

✓ 計画期間

平成 29 年度から令和 28 年度までの 30 年間とします。また、10 年ごとに更新し、5 年を目途に中間見直しを行います。

3 基本方針

✓具体的にどんなことに取り組んでいくの？

市民が安全・安心でゆとりのある暮らしができ、その暮らしを支え続ける公共施設を市民の皆さんと共に創っていくことを基本理念とし、既存施設の安全性や利便性を高め、それぞれの施設にあった適正な維持管理や長寿命化を図るとともに質・量・コストのバランスを保ち、将来にわたり質の高い公共サービスを提供していきます。また、財政負担の軽減に着目し、総合的かつ効率的な利活用を図っていきます。

》 小牧市公共ファシリティマネジメントの基本理念

ゆとりある暮らしをつくり、支え続ける公共施設の共創

基本理念を達成するために、3つの基本となる方針を定めて、取り組んでいきます。

方針1 公共施設の配置や総量の適正化

—— 市民ニーズに対応して、地域バランスの取れた施設配置や、必要に応じて施設総量の縮減に取り組んでいきます。

方針2 公共施設の質の維持・向上

—— 施設の利用状況や、公共サービスに対する市民ニーズを把握し、施設の利活用を図るとともに、より安全で使いやすい施設にしていきます。

方針3 公共施設にかかる経費の縮減

—— 管理運営方法などの見直しや、施設を安全に少しでも長く使用できるよう取り組むことにより、財政負担を少なくしていきます。

本計画における施策は、SDGsの多くのゴールと関連があり、「つくる責任つかう責任」「住み続けられるまちづくり」を「質の高い教育をみんなに」等の達成に貢献するとともに、将来にわたって持続可能な社会の実現を目指し、適正な公共施設のマネジメントを促進していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



✓方針1「公共施設の配置や総量の適正化」の取り組み

- ・地域バランスの取れた施設配置や施設の総量の適正化に向けた「公共施設適正配置計画」を策定します。



詳しくは「公共施設適正配置計画」
を見てみよう。

- ・利用が少ない施設については、将来の状況等も考え、他への転用や統廃合等を検討します。
- ・規模縮小（ダウンサイジング）や複合化、機能集約などを検討します。
- ・利用エリアを見直し、これまでのエリアを越えた施設の利活用などを検討します。

✓方針2「公共施設の質の維持・向上」の取り組み

- ・定期的に施設を点検、診断して安全性を確認し、安心して利用できるように努めます。
- ・市民ニーズに対応して、施設改修や運営方法の見直しなどにより施設の魅力を高めることを検討します。
- ・多様な人が利用しやすいユニバーサルデザインに配慮し、施設のバリアフリー化を進めます。
- ・脱炭素社会の実現を目指すため、省エネルギー化を行い、環境負荷の低い施設にしていきます。



みんなが使いやすい
施設だね。

施設の省エネルギー化を進め、脱炭素化社会の実現を目指して
いくなだね。



✓方針3「公共施設にかかる経費の縮減」の取り組み

- ・施設を適切に維持管理し、長寿命化を図ることで、施設の建設から取り壊すまでの間に要する費用（ライフサイクルコスト）の縮減を図ります。併せて、修繕、改修、建替え（更新）の時期が集中しないよう平準化することで、単年度にかかる財政負担の軽減を図ります。



詳しくは「公共施設長寿命化計画」
を見てみよう。

- ・民間企業のノウハウ等を活用し、満足度の高い公共サービスの提供に努めます。
- ・メンテナンス性、可変性などを総合的に検討し、コストパフォーマンスの優れた施設とするよう努めます。
- ・建替えや改修に備え、計画的な資金の積み立ての検討や遊休資産の売却処分等を行い、財源を確保します。



計画的にお金をためていくのね。

4 施設用途別の今後の方向性

3つの方針とその取組みに基づき、**施設用途別に「今後の方向性」**を示し、別途策定する2つの計画における具体的な取組みに繋がります。

✓公共建築物

本編では、コミュニティセンターやスポーツ施設など **22用途**の今後の方向性を示していますが、ここではそのうち **3用途**を紹介します。

■会館・老人憩の家

	施設名	施設数
1	会館（共同利用施設）	81 施設
2	老人憩の家	3 施設



主な方向性

- ・手すりの設置や段差解消等のバリアフリー改修を実施し、**高齢者が使いやすい施設**とします。
- ・施設の有効活用策を検討し、さらなる**施設利用の促進**を図ります。
- ・会館の**今後のあり方（集約・統合・廃止・地元無償譲渡等）**を検討します。

■学校

	施設名	施設数
1	小学校	16 施設
2	中学校	9 施設



主な方向性

- ・建替え等の経費による財政負担の軽減や、長期にわたり快適で安全な施設の使用を可能にするため、**適切な維持修繕を計画的に実施**していきます。
- ・校舎等の**建替え**は、莫大な経費を要するため、**計画的に実施**していきます。また、建替えをする際は、**児童生徒数に見合った施設規模**にしていきます。
- ・児童生徒数の減少が著しい地域の**小中学校は統合等も視野**に入れて検討していきます。
- ・空き教室などが出た場合、**地域住民の交流スペースなどに活用**していきます。

■保育園・幼稚園

	施設名	施設数
1	保育園	21 施設
2	幼稚園	1 施設



主な方向性

- ・地域ごとの保育需要に対応した**中長期を見据えた施設配置計画**を検討します。
- ・多様な保育ニーズに対応するために、各地区の保育園の適正配置・整備を推進し、**管理運営に民間の柔軟かつ効率的なノウハウを活用**することにより、**保育サービスの充実**を図ります。
- ・**第一幼稚園と大山保育園を統合**し、公立の認定こども園に移行することにより、多様化する保育ニーズに対応します。

✓インフラ施設・企業会計の施設

公共建築物と同様に、インフラ施設・企業会計の施設についても施設用途別に「今後の方向性」を示します。本編では、インフラ施設・企業会計の施設で道路・公園や上水道施設など 7用途の今後の方向性を示していますが、ここではそのうち「道路」を紹介します。

道路

施設種類	施設保有量 (延長/敷設面積)
道路	908, 874m / 5, 427, 449 m ²



主な方向性

- ・劣化状況や危険性等について、定期的に適切な点検・診断等を行い、対策を要する箇所や所要経費の把握に努めるとともに、優先度等の判断を行い、計画的に対応します。
- ・長期的な視点に立って、緊急性の高い路線から計画的に整備を行います。
- ・段差解消・歩車道分離などのバリアフリー化や交通安全施設の設置を進め、道路利用者の利便性の向上を図ります。

5 まとめ

大切な市民の財産である公共施設を守っていくため、公共ファシリティマネジメントに計画的に取組み、厳しさを増していく時代に対応していくとともに、これまで以上に魅力や利便性の高い、行政経営への負担の少ない公共施設へと転換していく必要があります。

そして、この取組みを推進することで、未来を担う子どもたちや更にその先の世代の市民生活にも責任を持ち、本市の「魅力」と「活力」を次代に引き継いでいきます。



公共施設の課題への対応には長い時間がかかるので、将来のため、今からいち早く取り組んでいくんだね。

私たち市民の大切な財産である公共施設を守っていくため、公共施設適正配置計画や公共施設長寿命化計画と併せて、公共ファシリティマネジメントをしっかりと推進していく必要があるわね。





キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

**小牧市公共ファシリティマネジメント基本方針（概要版）
（公共施設等総合管理計画）**

発行日：令和5年3月

発行：小牧市

編集：小牧市総務部資産管理課

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地

TEL：0568-39-6533（直通） FAX：0568-75-5714

E-mail：shisankanri@city.komaki.lg.jp